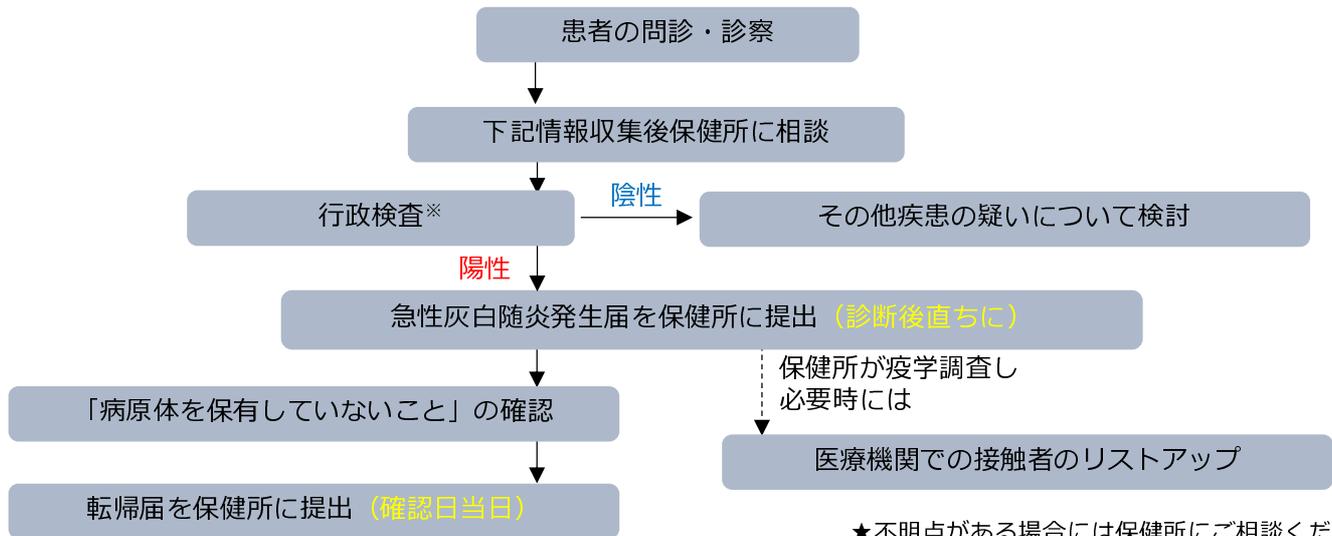


急性灰白随炎（ポリオ）

2類感染症

医療機関の対応の流れ



★不明点がある場合には保健所にご相談ください。

※行政検査は感染症法に基づく検査のため、必ずしもできるわけではありません。

届出

- ・検査による**確定診断後**に診断した医師より発生届提出（**診断後直ちに**）
 - ・「**病原体を保有していないこと**」の確認方法に基づき、保健所に転帰届を提出（**確認日当日**）
（参考）
- 学校保健安全法上第1種の感染症に定められており、治癒するまで出席停止とされている。

医療機関が問診・診察時に確認する情報

- ・発症日からの症状と経過（約95%は不顕性）

不全型	発熱、頭痛、咽頭痛、悪心、嘔吐などの感冒様症状
非麻痺型	発熱、頭痛、咽頭痛、悪心、嘔吐などの感冒様症状、 無菌性髄膜炎
麻痺型	発熱に引き続きあるいは一旦解熱し再び発熱した後に、 突然四肢の随意筋（多くは下肢）の弛緩性麻痺

潜伏期は3～12日

- ・患者居住地
- ・現在の所在地（入院、外来、自宅）
- ・発症1ヶ月以内の海外渡航歴
- ・ポリオ含有ワクチン接種歴（接種日、接種内容）
- ・医療機関初診からの投与薬
- ・同居家族等の有無
- ・家族内の未就学児や抗がん剤治療等免疫低下リスク有無

接触者の健康診断

- ・感染可能期間は**発症から治癒するまで**。
- ・**症状出現後**に適切な防護具を使用せずに患者の咳を浴びたり、糞便や咽頭分泌物に直接接触れる等の濃厚な接触があった者をリストアップし下記□内確認。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・患者との接触状況（日付、場所、接触内容） ・接触者の調査時の状態（症状の有無） ・ハイリスク〔透析等基礎疾患、妊娠、免疫低下〕の有無 |
|---|

- ・急性灰白随炎患者との最終接触日を0日目として**3週間**、症状出現がないか健康観察。